

青年部

[7月全体会議]

施設見学及び大阪府青年部と交流会開催

7月14日(木)青年部(永田幹人会長)7月全体会議が交流委員会(伊藤智織委員長)担当で、～大阪府青年部との交流事業～をテーマに開催されました。

午前中は(公社)大阪府産業廃棄物協会会員の(株)興徳クリーナー岸之浦工場(大阪府岸和田市岸之浦10番地11)の施設見学を行い、午後からは大阪府循環型社会推進協議会と交流会が行われました。

本年、青年部事業計画のひとつとして、他青年部との交流が計画されていることもあり、大阪府青年部との調整が付き、交流会という運びとなりました。



こうした処理方法は特許を取得しているそうです。

担当者の案内で工場に入り、廃棄物の投入口から処理フローに沿って全体を見学しました。

岸之浦工場では分析室を設け、ICP発光分光分析装置等高度の分析ができる機材を導入することで、廃棄物の成分を明確にし、分析結果に応じた適正処理、再資源化を行っているとのことでした。

今回の説明会では、廃棄物の再資源化を主事業とする関西3社で設立した新会社レックスグループの代表取締役 塩見頼彦氏のプレゼンテーションがありました。

交流会では乾杯の後、双方の青年部から歴史、組織、これまでの取組事業について、紹介された動画を見ながらプレゼンターからお話がありました。青年部30周年となった節目に、他青年部との交流による意見交換から互いに新しい方向性が見え、これからの新たな活動の広がりに向けて貴重な交流会となりました。



(株)興徳クリーナー岸之浦工場会議室



(株)興徳クリーナー
片瀨専務取締役

7月全体会議には会員25名が出席し、午後1時新大阪駅1階の「動輪モニュメント」付近に集合。その後マイクロバスで大阪湾岸沿の工業地帯を走り、約2時間で(株)興徳クリーナー岸之浦工場に到着しました。到着後会議室に入り、専務取締役営業部長 片瀨則人氏から会社概要をはじめ、処理施設、処理工程、分析内容などについて、施設紹介の映像を見ながら詳しい説明を受けました。

岸之浦工場は廃油、廃酸、廃アルカリから中和処理(中和、中和・無害化)減圧濃縮処理により、銅とニッケルを元素レベルで抽出し、リサイクルを具現化した施設(工場)です。6基のバッチ処理で行う



大阪府循環型社会推進協議会との交流会